



歯科衛生士は歯科医師のアシスタントと いうよりも、自立した専門職。歯の健康 づくりをサポートして、患者さんと一生 のお付き合いをしていく仕事です。

20年ほど前は2年制で、カリキュラムがぎざぎざ組まれていたので大変だった思い出があります。勉強は歯のことばかりでなく、人体全部の医学的な分野まで広く学ぶので難しい内容もありましたが、仲間と励まし合って試験にも無事合格しました。

就職は地元の歯科医院かと思っていましたが、幸い松本歯科大学病院に入ることができました。最初の配属は「歯周病科」というところで、主に患者さんの歯周病の治療や予防などを行ってききました。患者さんと初めて接したのは、ブラッシング指導でのこと。学校の実習では友人や家族の口の中しか触れなかったのですが、患者さんのお口を触った時はガチガチに緊張してしまい、笑顔もできずそのまま終わってしまったことを今でも覚えています。

学校でいっぺり勉強した体験は、「仕事の現場」に出かけたら自信につながりますね。



最初は、患者さんとのコミュニケーションが苦手でした。どうしても話が長く続かないのです。その原因が自分の立場ばかりで話してしまい、患者さんのことを考えていなかったということ

に気がつきました。それからはずは患者さんの話をしっかりと聴くことが出来ました。そして患者さんが話してくれたら、しっかりと頷くこと。あいづちを打つこと。そうすれば患者さんは、「あ、この歯科衛生士さんはよくわかってきている」と安心してくださいますし、そこから信頼が生まれるようになります。

学校での勉強の意味は、実際に仕事の現場に出てからあらためてわかるものですね。経験を積みれば積むほど、「あつ、学校で学んだことは、このことなんだ！」と腑に落ちることばかり。いわば身体全体でわかったような感覚になって、それが歯科衛生士としても自信にもつながっていききました。



今私は、大病院の「口腔衛生科」で働いています。お口の健康を維持し、

母のアドバイスもあり、「手に職をつけるつもりで、歯科衛生士を目指しました。」



高校時代、歯科衛生士の存在は知りませんでした。進路選択に直面して母から、「歯科医院で働ける国家資格が

病気予防のためのきめ細かなケアをすることが目的の専門科で、患者さんとはいわば「一生」のお付き合いになりますね。

歯科衛生士は自立したいという職業観が大事。それがあれば、女性として一生のキャリアになります。



現在の職場では、患者さんと長いお付き合いをすることになります。そうすると、歯科衛生士として取り組む仕事の姿勢や患者さんとの信頼関係、そしてその基盤になるコミュニケーション力といった幅広い能力が求められますので、歯科衛生士として自立した責任感とか職業意識がとても大事になります。

また今後は歯科衛生士にも、より深い専門性を身に付けることが求められるようになってきました。たとえば「日本小児歯科学会認定歯科衛生士」「日本障害者歯科学会認定歯科衛生士」などの新たな資格が生まれています。私は「日本歯周病学会認定歯科衛生士」の資格をとって、さらに歯科衛生士としてキャリアアップを自覚しています。

私事ですが就職して12年ほどして結婚しました。しばらくして一人目の子供

勤務先 ▶ 松本歯科大学病院 歯科衛生士室

にしゅくほ ゆうか
西窪 結香 さん(41歳)

出身校
松本歯科大学衛生学院 歯科衛生士科 1997(平成9)年3月 卒業

勤務先概要
(住所) 〒399-0781 塩尻市広丘郷原1780 (tel) 0263-51-2307 (特別専門外来直通)

松本歯科大学に併設されている地域医療機関。従来の歯科に加えて、内科・小児科・眼科・耳鼻いんこう科などの総合的な診療体制を有する総合病院となっている。

コラム「仕事の現場ノート」

「何とかなるさ精神」で、2つの節目を乗り越えることができました!

これまで私には、大きく2回の節目がありました。一つは就職して5年目に職場の「チーフ」の立場を与えられた時。責任が大きすぎて逃げ出したいくなりましたが、「まずは自分でできることをやる!」という聞かせました。もう一つは、ついていた先生が代って、それまで私が覚えてきたことと違う新しい方法を求められた時。できるかなあととても不安でしたが、「悩むより、とにかくやってみよう」と覚悟して乗り切ることができました。この2つの経験は、現実から逃げずにやれば、困難なことも乗り越えられるということを私に教えてくれました。



を授かり育児休暇をいただきました。その後2年前にも二人目を産んで、この4月に復職したばかりなんです。子育てという女性としては大きなイベントを乗り越えて今後とも家庭と仕事を両立していけるので、かつての母のアドバイスを現実することができました!

あるよ。手に職をつけたらどう?」とアドバイスをもらいました。私も仕事はずっと続けたいと思っていましたので、とても納得できました。松本歯科大学衛生学院に進学したのは、県内での進学という希望が叶うことと、大病院でしっかりと実習ができること。今は3年制になっていますが私が入学した